

	指導体制	目標
4月	指導者についてカルガモ形式 (見学のみ)	前半 1. 基本的な挨拶や声のかけ方がわかる 2. 患者さんの環境整備ができる(配慮) 3. 1日の流れが理解できる 4. 物品の位置がわかる 5. 1日のチェックリストの活用方法がわかる 6. 不潔・清潔の理解と手洗いが実施できる (標準予防、廃棄物など)
	指導者についてカルガモ形式で一緒にできるケア実施	後半 1. 患者の観察方法が理解できる 2. P P E が実践できる(感染防御) 2. 排泄ケア 保清を実施できる 3. 与薬方法の理解と正しい与薬ができる 4. 患者情報の取り方、記録の方法が理解できる
5月	夜勤の見学実施	1.夜勤(目標) 夜間の患者の様子や看護師の動きがわかる (夜勤の見学)
	指導者と新人で4人位を受け持つ	5月11日～2人 日常生活援助のある患者 5月18日～3人 与薬のある患者 5月25日～4人 点滴のある患者(1人) 1日の業務チェックリストを活用しながらもれなくできる
6月	夜勤 1回 できるケアを手伝う	1. 夜勤(目標) 夜間の患者の基本的なケアの重要性を理解する (イブニングケア・モーニングケア・睡眠環境を整える・安楽の確保・夜間の観察ポイント等)
	日勤：通常のペアに入る 日勤：指導者と3人ペアで実施 受け持ち2人と入院受け入れができる 検査科 薬剤科研修	
7月	夜勤1回 (+ 1 体制)	夜勤の目標 1. 夜勤(目標) 夜間の患者の基本的なケアの重要性を理解する (イブニングケア・モーニングケア・睡眠環境を整える・安楽の確保・夜間の観察ポイント等) 2. 指導者の患者を共に受持ちケアと記録ができる
	通常のペア体制にし、患者の幅を広げる 外来研修	日勤の目標 1. できる看護技術を増やす 外来研修目標 1. 外来患者の流れを理解する 2. 救急患者の対応を学ぶ
8月	夜勤開始 (+ 1 体制 1 ～ 2 回)	夜勤の目標 1. 指導者の患者を共に受持ちケアと記録ができる
	通常のペア体制にし、患者の幅を広げる	日勤の目標 1. できる看護技術を増やしていく 指導者はそばで見守り、主体は新人がケア・記録できる (夜勤の1人立ちの評価を行う)
9月	夜勤開始	1. ケアを実施し記録ができる (指導者は傍で見守り)
	看護技術チェックシートで6か月評価	(夜勤の1人立ちの評価を行う)
10月	プリセプターと患者を受持つことができる (プライマリNS)	1. 助言を受けて患者の看護計画が立案できる
11月		
12月		
1月		
2月		
3月	3月に4月～1人で受持 (プライマリNS) できるか評価	